

# キャンパス散策（学習院女子大学）

## 概要と沿革



学習院女子大学は、平成10（1998）年に、国際社会という大きなステージで、21世紀という時代を自由闊達に生きていく見識と行動力のある女性を育成することを目指し、学習院女子短期大学を改組のうえに開学しました。学生数は約1700名、日本文化学科、国際コミュニケーション学科、英語コミュニケーション学科（平成18年開設）の3学科を擁する国際文化交流学部の1学部からなる4年制の女子大学です。

4年制大学としてはようやく開学10年を迎えた若い大学ですが、前身の女子短期大学としての歴史は昭和25年、さらに女子校としての歴史は明治18年の華族女学校開校にまで遡ります。明治初頭の学習院の女子教育の伝統を現代へと受け継ぎながら、国際社会で幅広く活躍する女性を育成しています。



重要文化財の正門



大学内の様子

## 施設・設備

学習院女子大学のキャンパスは東京都の新宿区にあります。一般的には高層ビルや繁華街のイメージが強いと思われませんが、周囲は自然の豊かな文教地区です。

### ・ 2号館

2004年8月に完成した、本学における教学の中心となる施設です。地階には日頃は教室としても使われるやわらぎホール、電子ホワイトボードやA V機器、パソコン画面をスクリーンに映し出す装置を備えたマルチメディア教室、伝統文化実習が行われる和室、すがすがしい緑がひろがる屋上庭園などさまざまな機能をあわせもちます。



「2号館」外観



「戸山図書館」外観

## ・図書館

本学図書館には約19万冊の図書と約2600タイトルの雑誌を所蔵しています。また、所蔵調査・文献調査・他大学図書館との相互利用のレファレンス・サービスを行うとともに、文献検索に有用なオンラインデータベースなどを導入し、学生・教員の研究をバックアップしています。本学図書館の建物は、洗練された機能美が評価され、1985年、第1回日本図書館協会建築賞優秀賞を受賞しています。

## ・互敬会館

学生のための福利厚生施設です。2階まで吹き抜けになっているメインホールは、南側全面が天井までガラスになっており、中庭の四季の移ろいを感じながら食事することができます。その他に、ダンスなどの練習に使用するスタジオ、お茶、箏曲の練習に使用する和室、音楽の練習のために2部屋の防音室、学生用ロッカールームがあります。



「互敬会館」メインホール

## 学生生活・学生支援

すべての学生が充実した4年間を送ることができるように、また、ひとりひとりが卒業後も豊かなキャリアを築いていくことができるように、学生部・就職部を中心としてさまざまな学生支援を行っています。

## ・大学祭

短期大学時代からの伝統で「和祭（やわらぎさい）」と呼ばれています。例年、10月中旬の土日開催され、日頃の学生生活の表現の場としてはもちろん、近隣地域や他大学との連携にも力を入れた学生主体のイベントです。



大学祭風景

## ・進路支援

学習院女子大学では、1年生の4月から卒業まで、就職活動のさまざまな支援プログラムを設けています。1年生において「就職を見すえた学生生活の送りかた」から始まり、3年生では就職活動の実践的指導までおこないますが、あくまで深く自己と向き合い、ひとりひとりの適性にあった指導を目指しています。本学は4年制の大学としては歴史の浅い若い大学ですが、長い伝統を誇る学習院の一員です。学習院女子大学のみならず、前身の女子短期大学、さらには学習院大学の卒業生組織「桜友会」の全面的協力を得て、本番さながらの模擬面接を行い、人事などの第一線で活躍するOB・OGの個別指導を受けることで、自信を持って面接に臨めるよう指導しています。



「OGによる業界研究セミナー」

## ・生活相談

当時は短期大学であった昭和53年度より、カウンセリングルームを設置し専門の臨床心理士が学生の支援にあたっています。本学のカウンセリングルームは、Come and talk!を略してCAT ROOMと呼ばれています。また、深刻な相談でなくても、性格や対人関係パターン、職業適性を理解するための各種テストなどが用意され、幅広い利用を呼びかけています。



「伝統文化実習（有識故実）」